

政治 4 国際 7 気流 12
 経済 8 9 商況 8 9 10
 解説 13 教育 小説 16
 家庭 17 文化 基・将棋 26
 スポーツ 19 20 21 23 25
 *「家計」休みました。

発行所 読売新聞大阪本社 〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9 電話(06)6361-1111(代) www.yomiuri.co.jp

高齢者ががん積極治療回避

85歳以上進行期

肺58% 胃56%

がんセンター

がん患者における高齢者の割合が増える中、最も病状が進んだ進行がんになった85歳以上の高齢者に対して、積極的な治療をせず経過観察などにとどめる割合が、がん種により最大で6割を超えることが国立がん研究センターが9日に発表したデータでわかった。完治が難しく5年生存率も低いことから、生活の質を重視した選択をしているものとみられる。国は最良の選択ができるよう高齢患者向けの治療に関する研究を進める。

がんは進行度に応じて早期の1期から、他の臓器に転移するなど、最も進行した4期に分類される。同センターによると、1年間にがんになる人全体に占める75歳以上の割合は2012年で42%を占め、02年(35%)から7ポイント増えていた。高齢化の進展で今後も割合は増えるとみられる。

同センターは、15年に全国のがん診療連携拠点病院など427施設でがんを診断された患者約70万人の集計データを公表。75歳以上の高齢者の病期別の治療法を初めて明らかにした。

それによると、4期の非小細胞肺がんは「治療なし」が58.0%に達した。同じ病期の胃がんは56.0%

年齢別で見た主な進行がん(4期)の無治療患者の割合

種類	年齢別			
	40~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上
胃	8.5	12.5	24.8	56.0
大腸	4.6	6.7	14.7	36.1
肺(非小細胞)	8.9	13.7	30.2	58.0
乳房	5.2	6.6	8.3	19.4
膵臓	11.3	15.7	31.5	60.0

数字は%

みられる一方、認知機能の衰えから治療の差し控えなどがあるとの見方もある。高齢者のがん治療に詳しい杏林大の長島文夫教授(腫瘍内科学)は「高齢で意思疎通に困るケースに対し、医療者側で適切な治療法を考えるための基準作りを急ぐ必要がある」と話している。

主ながんの5年生存率(2008年に初診)

がん種	5年生存率
前立腺	97.7(%)
乳房	92.7
子宮体	82.8
子宮頸	75.6
大腸	72.6
膀胱	71.2
胃	70.4
食道	43.4
肺	39.1
肝臓	38.5
膵臓	9.9
全体	65.2

がん完治の目安となる5年後に生きている患者の割合。がんの種類や進行度などを患者ごとに把握することが算出に必要な。今回は、がん以外の病気や事故などによる死亡の影響を除いた相対生存率を使っている。

5年生存率 がん完治の目安となる5年後に生きている患者の割合。がんの種類や進行度などを患者ごとに把握することが算出に必要な。今回は、がん以外の病気や事故などによる死亡の影響を除いた相対生存率を使っている。

指針策定急げ

進行がんの85歳以上の高齢者には、がんの積極的な治療が控えられている実態が初めて判明した。がんは現在利用できている最良の治療である「標準治療」が基本だが、抗がん剤などの積極的な治療は体へ

小池氏 新党結成後押し

日本ファースト「国政選択肢示す」



小池百合子都知事

東京都の小池百合子知事は8日、読売新聞のインタビューに応じ、自身に近い衆院議員が設立した政治団体「日本ファーストの会」について、「(有権者に)

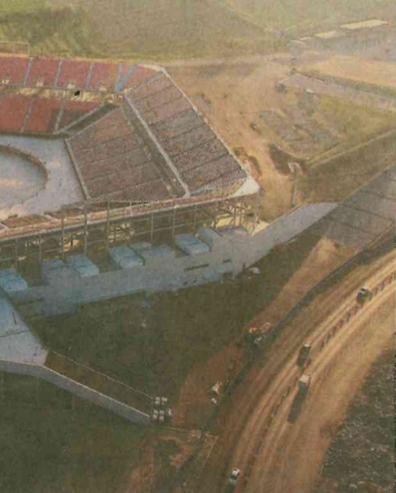
「可能にしない」と述べるにとどめた。日本ファーストの会は9月16日に政治塾の初会合を開く。小池氏はここで講師を務める。

ハニエースQ+2面、関連記事3・4面

編集手帳を聴く + AR7 水曜 +

探せ！ポケモン たのしい方言

好評スタート！読売記事検索 読売プレミアム 15面に特集



夕日をあびる開閉会式会場(4日、韓国・平昌で)＝小型無人機から、上甲鉄撮影

動画はYOLで